



を取る手を優先するルール。

自玉に逆王手が掛かれば、

それを防ぐ手しか選択肢が

なくなり、駒を取らない手

が指せる：それが7手目56

桂ではなく36桂とする理由

です。不利を有利に変える

見事な着想ですね。

西村恒雄—45銀、同玉、54桂

に苦しめられる。逆王手を

させて欲を封じて34桂。

☆龍が3筋に居たままだと、

45銀、同玉の後に44銀成と

できません。初手で龍筋を

逸らし、後に龍筋を戻す。

この手順構成は見事です。

海賊王—逆王手というのがヒ

ントになった。

☆冴えた構想と的確な表現。

創作に必要な両輪が揃って

いるので、逆王手が出ると

知っていても楽しめます。

③【Isardam】ばか自殺スタイルメ

イト 9手（受先）

神無太郎


持駒 飛角銀桂

16飛、36飛、35角、15角、

24桂、34銀、同玉、46桂、

42桂迄9手。

6	5	4	3	2	1				

持駒 なし

(最終図)

【Isardam】同種の敵駒の利き

に入る手を禁手とする。

【ばか自殺スタイルメイト】

先後協力して最短手数で攻

方をスタイルメイト（王手

は掛かっているが合法手

のない状態）にする。

☆「受先」は受方が自由に初

手を選べます。本作の初手

は何と500通り。風潰しは無

理なので「勘」が必要です。

西村恒雄—直感で16飛を決め、

5手目までをなんとかクリ

ア。残りの銀桂の処理に困

る。

☆1筋を塞ぐ16飛はIsardam

では自然な手。これは36飛

とペアで攻方玉の可動範囲

を一気に狭める狙いです。

Isardamでは同種の敵駒の利

きに入る手は、たとえそれ

が玉を取る手でも禁手なの

で、36飛は王手を逆王手で

受けると同時に、自玉が飛

筋を外れる手も防ぐ効率の

良い手となるのです。

☆以下も逆王手の角合に角の

逆王手で受ける応酬を続け、

順調に攻方の合法手を減ら

します。続く桂合で自玉と

大駒はほぼ動けなくなりま

したが、問題は残った銀と

桂の処理です。

須川卓二—頭4手を決め打ち

でしたが、その後の桂の使

い方が素晴らしい。

市村道生—豪華絢爛!! 飛角

の連続逆王手。一転、5手

目からは渋いSMの好手順。

☆玉頭から銀を捨てるのが俗

手の好手。46桂で飛の横利

きが止まり（銀を玉頭に捨

てたのはこのため）、42桂

で46桂の動きを止めます。

最終図では攻方の駒が4枚

もあります。どの駒が動

いてもIsardamの反則になる

ことを確かめてください。

④強欲ばか自殺詰 18手  
たくぼん

9	8	7	6	5	4	3	2	1
	香	香		歩	歩			
王	馬					玉		
	龍					香	香	

持駒 金3銀4桂2

96銀、同角、87桂、同角成  
85金、同玉、97桂、同馬  
76銀、同玉、85銀、同龍  
75金、同馬、67銀、同玉、  
57金、同馬迄18手。

☆持駒と手数の関係から全手

順捨駒は確定。両王手の詰

上りも予想できません。

弘光弘―予想通りの両王手の

詰上り。途中で逆王手がか

かるのも気が利いている。

☆分かっていても気持ちよい

両王手。途中で逆王手が掛

かるのが巧い構成で、逆王

手の両王手となる詰上りの

爽快感を増しています。

福原徹彦―「金が4枚あれば

…」と何度も思いました。96

と87の角を成らせるルート

が予想外でした。

桂憩―詰上りの竜と馬の位置

はすぐに分かったのですが、

玉の位置は56だと思ひ込ん

でしまって大苦戦しました。

☆作意はまるで入替バズル。

角を75へ運ぶ手段はいろいろ

ありますが、平凡なルー

ト（例えば96↓87↓76↓

75）では金銀が不足します。

玉より龍と角の移動に手間

を掛ける展開にも意外性が

あり、単純な打捨物とは一

線を描く作品です。

⑤ばか自殺詰 98手  
神無三郎「剣の舞」

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						香	香	
			金	銀		銀	銀	
角					金	香	香	香
歩			馬			飛		桂
							王	
						飛		桂
	ス					桂	香	歩
金	銀			歩	桂			
金	王		ス					

持駒 なし

36飛引、15玉、16飛、同玉、  
36飛、26飛、同飛、15玉、  
16飛、同玉、96飛、86飛、  
同飛、同と、76飛、66飛、  
同飛、15玉、65飛、16玉、  
76飛、同と、66飛、56飛、  
同飛、15玉、85飛、75と、  
55飛、16玉、86飛、66と、  
56飛、15玉、85飛、65と、  
55飛、同と、37角、16玉、  
86飛、46飛、同飛、同と、

36飛、26飛、同飛、15玉、

36飛、37と、16飛、同玉、

96飛、86飛、同飛、15玉、

85飛、16玉、96飛、86角、

同飛引、15玉、85飛、35桂、

26角、16玉、35角、15玉、

46角、16玉、55角、15玉、

66角、16玉、75角、15玉、

86角、16玉、59角、36と、

15飛、同玉、56桂、37飛、

同角、同と、16飛、同玉、

64桂、86飛、同飛、15玉、

85飛、65角、27桂、16玉、

56飛、同角迄98手。

☆今回の最難解作。

☆玉が1筋に閉じ込められ、

出て来られない形。初形か

ら軽く飛を捌いて11手目が

ら56飛、同角とする詰筋が

見えます。ただし、この時

点ではこの詰筋を48桂と94

角の2枚が妨げています。

94角の利きは85飛の遠打で止められますが、48桂を消すことはできません。

某氏（無解）—48桂消去の為に59角型を造るまでは分かるが、手数短縮が出来ず。

これは時間が欲しかった。

☆「消去」の代わりに「移動」

を使うのが局面打開の秘策。

48桂自身で王手をするのは無理ですが、背後に角を忍び込ませれば、開き王手で桂が移動できます。

☆そのためには周到な準備が必要

です。まず、盤上から65

角を消して持駒にします。

次に飛2枚の軌道に沿って

「角鋸」で角を86に移動。

更に開き王手で角を59に移動します。裏に手の込んだ

手順ですが、これでもまだ

本作は解けません。

某氏（無解）—87とを37まで

移動させて、59角から桂の

二段跳ねという手順だと思

うのだが、非限定の多い100

手詰の順しかわからず残念。

☆開き王手のとき、受方には

適当な合駒がありません。

そこで「角鋸」を行う前に

「87と」を37まで呼び出し

て合駒に利用します。と金の

移動は、と金自ら移動合

で動く方法と、捨駒をと金

に取らせる方法があります。

後者は捨駒を直後に取る方

法と、取る手を一旦保留し、

開き王手のときに取る方法

の二種類に分かれます。こ

れらの最適な組み合わせは

試行錯誤で求めるしかなく、

大変難解です。では、この

難問を克服した唯一人の正

解者の評をご覧ください。

市村道生—主題は48桂の消去。

壮大な構想と巧緻な手順。

正に、珠玉の秀局です。

☆「角鋸」と「呼び出し」は

共に一局の主題となる素材

ですが、本作はこれを両方

盛り込んだ重量級の構想作

です。逆王手はルール上必

要な最後の一手だけですが、

序盤に垣間見た幻が踏破困

難な手順を経て現実となる

わけですから、ただの一手

とは違う重みがあります。

【総評】

谷口翔太—解けた3題で一番

苦労したのは③、予想が当

たって嬉しくなったのは、

たくぼん作。暇に任せて楽

しい？一カ月の解図劇でし

た。

☆マイペースを保って解図す

るのは大事ですね。「解く」

ではなく「考える」を目的にすれば、「氾濫」の難解作も楽しめると思います。

【各題の正・誤・無解者数】

① 26 0 5 ② 9 3 19 ③ 4 1 26

④ 11 0 20 ⑤ 1 0 30

【解答成績】（太字5名当選）

【全題正解】市村道生

【4題】駒井信久、須川卓二、

西村恒雄 【3題】占魚亭、

福原徹彦、和田裕之

【2題】岩本修、海賊王、

桂樹、谷口翔太、弘光弘

【1題】赤井秀雄、天津包子、

金無懐三郎、佐々木寛次郎

周露珍、鈴木彊、滝本幹夫、

武田静山、竹中健一、田中孝海

中山芳樹、原雅彦、原田雄

二、山下誠、山本強志

【0題又はコメントのみ】

市原誠、西野かな、藤井美大、

陽気なわらしべ長者